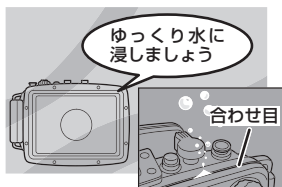


最終テストをする

カメラに防水プロテクターを装着した状態で浸水テストを行います。水もれがないか確認しますので、必ず行ってください。

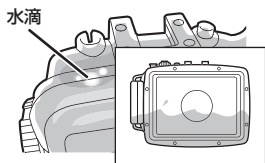
真水の入った水槽やお風呂などに浸したまま水もれがないか確認します。ただちに水中から引き上げられるよう十分に注意して確認してください。

1 30秒程度水に浸します。



- 水に入れたときに防水プロテクターの合わせ目から連続して気泡が出ていませんか？
- 実際に水中でボタン類を操作してみましょう。
- 写真も撮ってみましょう。

2 防水プロテクターをゆっくりと水から引き上げよく確認します。



- 防水プロテクター内の合わせ目付近に、水滴が付いていませんか？
- 防水プロテクター内に水がたまっていますか？

カメラに防水プロテクターを装着する

もし水もれが確認されたら…

- ① ただちに防水プロテクターを水中から引き上げ、水分をふき取ってください。
- ② 防水プロテクターからカメラを取り出してください。カメラ本体に水滴が付着している場合はただちにふき取ってください。
 - ❗ 防水プロテクターからカメラを取り外すときは、カメラを落とさないようレンズ部を下に向けて防水プロテクターを開けてください。また、防水プロテクターを開閉するときは、指や手のひらを挟みこまないようにご注意ください。
- ③ 防水プロテクター本体のひび割れ、Oリングに異物の付着、傷、ひび割れ、変形、変質、ねじれ、Oリング溝に異物の付着がないか確認します。
- ④ 確認後、異常が見られない場合は8ページの手順からやり直してください。
 - ❗ 防水プロテクターに異常があった場合はただちに使用を中止し、富士フイルム修理サービスセンター、またはお近くの弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
 - ❗ カメラ本体に水が入った場合はただちに使用を中止し、お近くの弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。異常があるまま使用すると発火や感電の原因になりますので絶対に使用しないでください。

Oリングに異物が付着している場合は浸水の原因になります。22ページを参照して異物を取り除いてください。



毛



繊維



砂